

簡単に導入可能な液漏れ検出技術です。

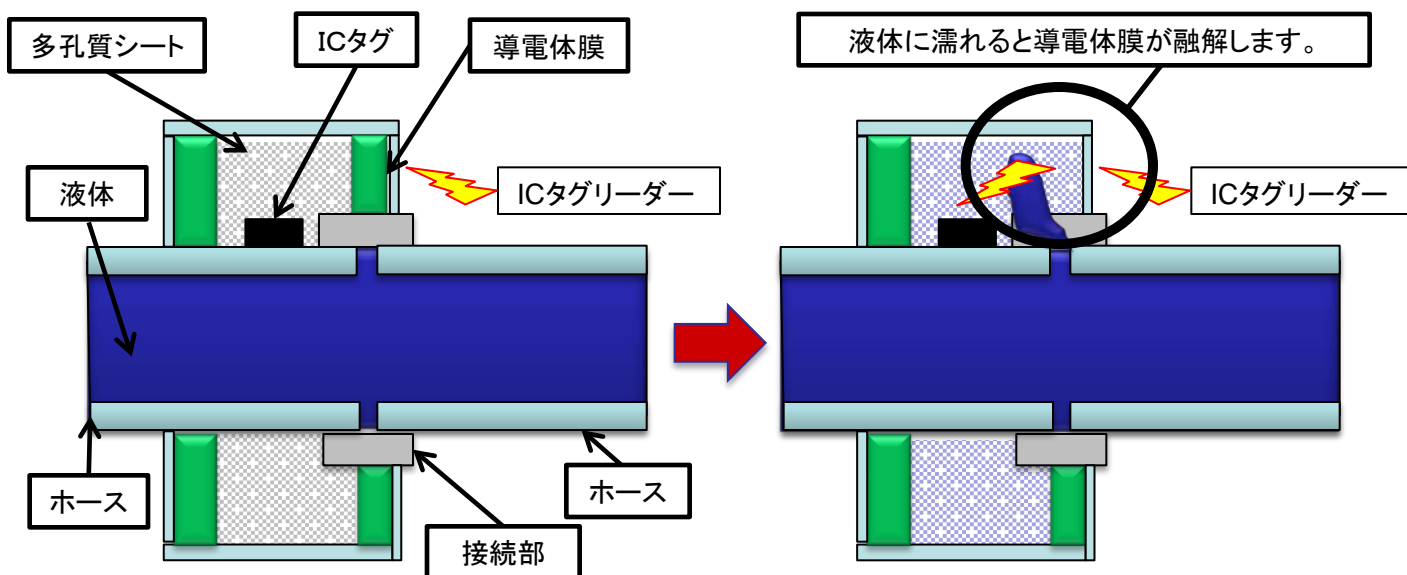
液漏れ検出技術

■ 概要

工事やメンテナンスが比較的容易でかつ、後付可能な液漏れ検出技術です。

■ 特徴

配管接続部にパッシブ型ICタグを配置し、その周囲に多孔質シートを配置します。また、多孔質シートの周囲に水溶性導電性高分子からなる導電体膜と樹脂フィルムとを配置し、ICタグとICタグリーダーとの間の通信を遮断します。液漏れが発生すると、漏れ出した液体が多孔質シートを拡散して導電体膜と接触し、導電体膜は液体中に溶解して消滅します。その結果、ICタグとICタグリーダーとの間が通信可能となり、液漏れの発生が検出される仕組みとなります。



導電体膜が融解することにより、ICタグリーダーとICタグ間で通信を行うことができます。通信の有無で水漏れを検出します。液漏れ箇所を容易に特定できることが特徴です。

■ 応用分野

工事現場や電子機器の冷却など様々な用途で応用可能です。

■ ライセンス条件

特許第5257171号 非独占通常実施権

富士通株式会社

法務・コンプライアンス・知的財産本部 知的財産イノベーション統括部 ビジネス開発部
〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションズスクエア
TEL : 03-6424-6069
E-mail : contact-tec@cs.jp.fujitsu.com